

たのはた



お父さん、お母さん

見つけた

5月30日に行われた田野畑小運動会。全校リレーの青チーム第一走者は佐々木渚ちゃん(1年)。スタート前にバトンをのぞき込み、観客席で応援している両親を探していました。(関連記事は22頁)

主な内容

- 特集 誰もがみんな「たのはた一ど」……………3頁
- 田野畑に定住しませんか……………14頁
- 生涯学習のページ……………16頁

田野畑小運動会

4月に開校した田野畑小（早川幸男校長、児童189人）の運動会は5月30日、同校グラウンドで開かれました。晴天に恵まれた当日は、絶好の運動会日和。運動会前は雨の日が続き、児童たちは外で練習ができないまま当日を迎えましたが、そんな不安を感じさせないほどの元気な姿を見せてくれました。会場では、父母や地域の人たちが子どもたちのがんばる姿に大きな拍手を送っていました。



早川校長も児童と手をつなぎ笑顔で全力疾走



1～6年生全員が声をからして応援合戦



田野畑小第1回運動会の優勝は白組



紅白対抗リレー。緊張の第1走者は1年生



かわいい1年生を背負ってゴールを目指す6年生



じゃんけんポン！勝ったらゴールに一直線



家族と一緒に障害物をくぐり抜け、仲良く手をつないでゴール



5・6年生は組み体操「6つの輪～New Friendship～」で6小学校の統合を表現



中学生は粉の中に隠れたあめに大苦戦

特集
誰もが
みんな

「たのたーど」



昨年1年間に田野畑村を訪れた観光客は約101万人。村の人口の250倍もの人たちが全国各地からやってきました。コンビニもなく交通の便も決して良いとはいえない岩手県沿岸の小さな村に、なぜ人々は訪れるのでしょうか。もしかしたら、わたしたち「たのたーど」に会ったためかもしれません。

村の観光は今

**平成21年の観光客数は
18年ぶりに百万人以上**

平成21年、田野畑村を訪れた観光客は約101万人。観光客数が100万人を超えたのは、平成3年以来、実に18年ぶりのことです。

これまでの観光入り込み者数の推移を見ると、三陸鉄道と思惟大橋が開通した昭和59年には前年の2倍以上の114万人。その翌年の60年には、これまで最多の121万人が村を訪れました。その後、観光客数は年々減少し、平成10年には62万人まで落ち込んでいます。

観光客数が年々減り続けるそんな村の観光に転機が訪れたのは平成11年。㈲日本交通公社が行った全国観光資源評価「自然資源・海岸の部」で、北山崎が国内唯一、最高ランクの特A級

に格付されました。それをきっかけに観光客は年々増加し、平成16年以降は90万人以上の人が村に訪れています。

**宿泊客がとも少なく
まだまだ低い経済効果**

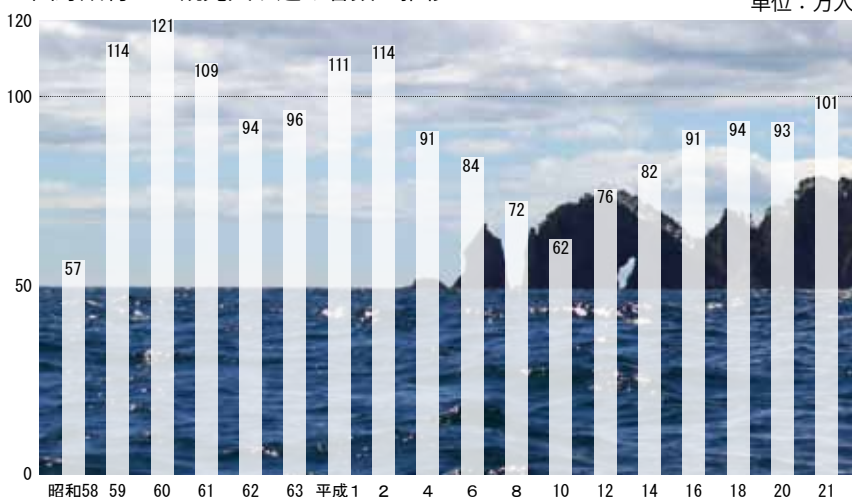
年間に100万人もの観光客が訪れる田野畑ですが、課題もあります。それは、観光客の多くが日帰り客ということ。現在の村の観光は、宿泊客がとも少なくのが特徴の一つです。平成21年に村内に宿泊した観光客は約5万人。観光入り込み者数のうち、宿泊するのは20人に1人程度となっています。

観光バスなど団体客の場合、北山崎を30分程度見学するだけで、田野畑村は通過点に過ぎないのが現状です。村内に滞在する時間がとても短いため、食事や土産などで地域にお金が落ち

ることが少なく、経済波及効果はまだまだ低い水準です。

また、観光入り込み者数は季節ごとに大きく変動しています。日帰り客が最も多いのは、ゴールデンウィークを含んでいる5月(21万人)。次いで8月(17万人)、10月(11万人)となっています。逆に少ないのは2月(5000人)。次いで3月(9000人)、1月(1万人)。

■田野畑村への観光入り込み者数の推移



■体験プログラム利用者の推移

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
件数(件)	100	123	421	1,040	1,151	1,586
人数(人)	434	662	1,913	5,650	5,868	7,998



観光客でにぎわう机浜の漁師体験番屋



体験メニュー あれこれ

①酪農体験 ②貝殻アート ③ガラス浮き玉編み ④サッパ船アドベンチャーズ ⑤番屋料理 ⑥机浜番屋群漁師ガイド



体験者に聞く



岡本 美緒さん
(20・陸前高田市)

優しく格好良い船長
景観もスリルも最高
また乗りたい

サッパ船に乗ったのは初めて。乗る前は船酔いを心配していたけど、そんな暇も無いくらい楽しかったです。テーマパークのアトラクション以上の迫力で、景観もスリルも最高。3,500円の料金以上の価値があると思います。船長は優しく格好良かったです。また乗りたいです。

サッパ船アドベンチャーズ

体験型観光の受け入れ サッパ船は一番の人気

村の観光客の多くは依然として通過型観光ですが、少しずつ変化もしてきています。

平成16年に体験村・たのはた推進協議会(現NPO法人体験村・たのはたネットワーク)が中心となり、本格的な取り組みが始まった体験プログラム。「番屋料理体験」や「北山崎ネイチャートレッキングガイド」など、さまざまな体験メニューが観光客を楽しませています。

一番多い5月と一番少ない2月を比べると、約40分の1にまで落ち込んでいます。このように観光客数が季節によって大きく変動すると、安定的な人材雇用や通年営業を難しくするなど、さまざまな影響があります。

利用者の推移を見ると、初年度の16年度は100件・434人だったものが、21年度には1586件・7998人になりました。これは、村を訪れる観光客の楽しみ方が、通過型観光から体験型観光に変化してきていることを表しています。

数ある体験プログラムの中でも「サッパ船アドベンチャーズ」は、最も人気があるプログラム。小型漁船の利点と船長の確かな操船技術で、絶壁の間近に近寄り、船上でホヤを食べられることなどが観光客を魅了し、年々利用者が増えています。

21年4月には、机浜番屋群の中に体験の拠点施設「漁師体験番屋」を整備し、各種体験プログラムの受け入れ体制の充実を図っています。

今、求められるもの

気付いていない魅力が
貴重な観光資源になる

全国に何百何千という観光地がある中、田野畑を選んだ観光客が年間100万人もいます。観光客は何を求めて田野畑に来るのでしょうか。そこには、わたしたちが気付いていない魅力があるのかもしれない。かつて机浜の番屋群は、地元では「古くなって見苦しい」とさえ言われていました。そんな番屋群が今では貴重な観光資源。平成14年に行った地元学で、村外からの参加者が「まさに漁村の原風景だ」と絶賛したことから、再評価や保存への機運が高まりました。

最近の旅行者は、単なる名所史跡を「見る」だけでなく、「学ぶ」「遊ぶ」「食べる」などさまざまな活動の中から、興味や関心のあることを観光テーマに選ぶ傾向があります。そして、訪れた地域のひととのふれあいを通じて「その地ならではの」「や」「自分だけの」体験を求めるようになりました。旅行者にとって重要なことは「どこに行ったか」ではなく、「どこでどういう経験をしたか」「どういう時間を過ごしたか」に変化してきています。

旅行者が観光に求めるものが変化する中、村がこれまで推進してきた「番屋エコツアーリズム」は、従来の北山崎依存の観光か

たしたちが気付いていない素晴らしいものがあるはずです。

変化する旅行者の動機
経験や過ごし方重要に

田野畑村を訪れた人たちに聞きました

実は北山崎のこと、知りませんでした
素晴らしい自然や体験。もっと上手に宣伝を

宮城県から夫婦で旅行に来ました。隣の県ですが、実は田野畑村のことで知っていたのは地名ぐらい。申し訳ないけど、北山崎のことは全然知りませんでした。自分たちも知りませんでした。自分たちも知りませんでした。一般的なにもあまり知られていないんじゃないでしょうか。

わたしたちはこれまで、団体旅行で全国のいろいろな場所を旅してきました。今は、良い場所、穴場を見つけるために2人でゆっくりと旅を楽しんでいます。観光の目的も「その土地でできないことを楽しむ」に変わります。

した。2人旅なので、旅先で出会った興味あることもすぐに体験できます。

田野畑村には自然やサッパ船の体験など、こんなに素晴らしい宝があるのにもったいないと思います。もっと上手に宣伝をした方がいいですね。宮古や久慈などと連携して宣伝すれば、観光客は来やすいのかもしれない。わたしたちもそうでしたが、情報としてあまり入ってこないの知らない人が多いんだと思います。

田野畑村のこと、お茶飲みをしながら友達に勧めたいと思います。



宮城県大崎市

早坂 和夫さん(70)
澄子さん(66)

(はやさか・かずお/すみこ)

■観光客が望む旅行スタイル (単位：%)

旅行スタイル		ぜひ行ってみたい	行ってみたい
エコツアー	自然を楽しみながら、自然や文化、環境などに対する理解を深める旅行	10.5	48.5
グリーンツーリズム	農山漁村などの環境やふるさと体験を楽しむ旅行	10.6	35.5
産業観光	工場見学やものづくり現場の見学・体験を楽しむ旅行	12.2	42.3
ヘリテイジツアー	鉱山や紡績場などかつて栄えた産業跡を見に行く旅行	5.2	23.1
ロングステイ	1カ月以上滞在し、現地での日常生活を楽しむ旅行	17.4	29.3
パワースポット	神秘的な力やエネルギーの宿る場所を訪れる旅行	14.5	30.8
おこもり、隠れ家滞在	ホテルや旅館内での滞在そのものを主目的とした旅行	14.8	36.9
リラクセーションツアー ※	エステやアロマセラピー、マッサージなど美容やリラクセスを目的とした旅行	21.1	30.9
ヘルスケアツアー ※	健康診断やエクササイズなど、健康回復や健康増進を目的とした旅行	10.4	32.0

出典：「旅行者動向2009」/財団法人日本交通公社(ただし※は「旅行者動向2007」)

さらなる村の観光振興のためには、まだまだ乗り越えなければ、

**まだまだ課題は山積み
村民全員で盛り上げを**

「サッパ船アドベンチャー」や「机浜番屋群漁師ガイド」などの代表的な体験プログラムの定着によって着実に実を結びつつあります。体験型観光は、今後の観光振興においても重要な方向性です。

ばならない課題が山積みされています。例えば、体験型観光の山間部への波及、一次産業と連携することでの田野畑産品の消費拡大やブランド化、雇用機会の創出……。これらは、観光を村全体の産業として展開していくために欠かせないことです。

そのためには、観光に携わる人や行政がやれればいいという考えを捨て、多くの皆さんが観光は村の基幹産業だと考え直す必要があります。村全体、村民全員で観光を盛り上げていくことが何よりも重要です。

INTERVIEW

民泊で人と人とのふれあいを体験させたかった 確かに遠い。でも距離的な遠さを超える魅力がある



盛岡市立大慈寺小学校
吉田 幸雄 校長
(よしだ・ゆきお)

大慈寺小初めての海洋体験学習を、田野畑に選びました。ほかでも受け入れを行っているところもありますが、田野畑を選んだのは北山崎が世界遺産に引けを取らない場所だと思っからです。しかも、その景色を展望台から眺めるだけではなく、サッパ船に乗ることで海からも体感できます。

そのほかにもいろいろな体験プログラムがありますが、その中でも特に民泊体験が魅力的。子どもたちには、人と人とのふれあいをさせたいと考えていました。景観やプログラムなど、総合的に見て田野畑は素晴らしい場所だと思い、体験学習の場を選びました。

6月9日から2泊3日、5年生30人がさまざまな体験をしました。サッパ船では子どもたちが大興奮、大感激。民泊やその他の体験も楽しかったようで、子どもたちは一つ一つの体験で、普段の学校生活では見せないような生き生きした姿をしていました。

盛岡から田野畑までは確かに遠い。でも、子どもたちの姿を見て、距離的な遠さを超える魅力がここにはあると確信しました。

来年も田野畑での海洋体験学習を予定しています。民泊家庭での時間をもう少しゆっくり取り、人と人とのふれあいをより深められる体験学習にしたいと思います。

目指すべき観光

新観光振興計画を策定 5つの基本目標を設定

サツパ船や番屋などを活用した体験型観光が県内外から注目を集めるようになり、その利用者も順調に増えています。

村は、この実績を礎に、さらに村の振興・活性化へと発展させていくことを目指し、今年3月、「新・田野畑村観光振興計画(ステップアッププラン)」を策定しました。

この計画では、村の目指すべき将来像を実現するために、5つの基本目標を設定しました。

① 田野畑らしい「ここだけツリズム」を展開しよう

- ・ 村の観光に磨きをかけて、番屋エコツーリズムから「ここだけツリズム」へ発展させよう

- ・ 村民がもてなしの主役とな

り、交流文化を創造していきましょう

② のんびり滞在、じっくり宿泊してもらえ「滞在型観光」を誘導しよう

- ・ 少しでも長く田野畑に滞在してもらおう
- ・ できるだけ宿泊してもらおう

③ 「村民が誇りを感じ、訪れた人が住みたくなる」村づくりをしよう

- ・ 村民が村の魅力に気づき、誇りを持つよう
- ・ 持続・自立していくための経済的な基盤を確立しよう
- ・ 訪れた人が暮らしたくなる魅力的な村をつくらう

④ 「波及効果(相乗効果)」の大きい観光振興を展開しよう

- ・ 多様な産業連携により、経済波及効果の高い観光の仕組みを作ろう



「たのはた一ど・おもてなし憲章」

1. わたしたちは、
田野畑を訪れる人をおもてなしの心で迎えます。
2. わたしたちは、
田野畑の言葉(方言)を大事に使います。
3. わたしたちは、
海や山の自然の魅力、昔ながらの生活文化、季節の味覚など、田野畑の魅力を伝えます。



「たのはた一ど・おもてなし憲章」を宣言する
上机莞治村長(5月29日・ホテル羅賀荘)

・村民の顔の見える観光を通して、田野畑村のブランド力を高めよう

⑤多様な人の「参画・協働・連携」による観光立村を実現しよう

・村民のやる気・生きがいを醸成し、次代の観光・村づくりの担い手を育てよう

・村民の主体的な参加による観光・村づくりを進めよう
・外部の応援団を巻き込み、連携・協働していこう

これら5つの基本目標に村全体で向かうことが、村のさらなる活性化につながります。

気付かない魅力や価値
観光客から学ぶことも

観光客のニーズは多様化してきています。安く手軽に短時間で楽しめるものを求める人もいれば、そこにはかないものや今だけしかないものをじっくりとお金をかけて味わいたいという人たちもいます。しかし、どちらにも共通するのは田野畑に求めているものがあるということ。それが、自然や暮らしの風景、産物や料理、そして村民とのふれあいです。

わたしたちには当たり前のことでも、都会から訪れる人には

「都会では出会えないこと」がまだ多く残されています。わたしたちが村の魅力や価値に気づき、それをピアーアールしていくためには、村を訪れてくれる人との交流が大切です。田野畑らしさや魅力は、観光客から気付かされることも多いのです。

みんな「たのはたーど」
おもてなしの心持って

村民とのふれあいを求めてくる観光客。わたしたちはその観光客とどのようにかかわったらいいでしょうか。

まずは、観光への理解と関心を持ち、温かくおもてなしする心が大切です。全村民が田野畑を訪れる人を温かく迎えるため「たのはたーど・おもてなし憲章」を定めました。「たのはたーど」とは、おもてなしの心を持った田野畑人。田野畑の言葉を大事に使い、自然や生活文化などの魅力を伝え、訪れる人をおもてなしの心で迎える――。

おもてなしの心を持って観光客と接することで、村の魅力や価値に気付きます。そして、大切な資源を守ろうとする気持ちや村への愛着、誇りを持つことにきつとつながります。

「浜人」
はんもうど

=漁師、海の達人=



「山人」
やんもうど

=山仕事をする人、山の達人=



田野畑人
たのはたーど

「里人」
さとうど

=里に住む人、生活の達人=



「はんもうど」…浜人(はまうど)のなまりで「漁師」のこと
「やんもうど」…山人(やまうど)のなまりで「山仕事をする人」のこと

出典:「新たのはた風土記」(1994年・田野畑村芸術文化協会)

※「さとうど」「たのはたーど」は造語

わたしのおもてなし

皆さんが観光地に出掛けたとき、道路がごみだらけだったらどう思いますか？ 道を尋ねた地元の人が無愛想だったらどう感じますか？ せっかくなきれいな景色を見たり、おいしいものを食べたりしても、その観光地に対する印象は良いものばかりではなくなるはずです。

ホテルや民宿、食堂や商店など観光に携わる人たちだけが観光客と接している訳ではありません。村民一人一人が村を訪れる人を歓迎(おもてなし)することが大切です。

大切なのは、村を訪れる人に少しでも喜んでもらおうとする心を持つこと。おもてなしは特別なことではなく、皆さんの普段の生活の中にたくさんあふれています。道路のごみを拾うことや笑顔のあいさつだって、すてきなおもてなしです。



あまね
中村 天音さん
(田野畑小5年・羅賓)

笑顔であいさつ

学校でも地域でも、元気にあいさつをします。だって、その方が自分もあいさつされた人も気持ちがいいと思うからです。家の前を通る観光客にも笑顔であいさつするし、道を聞かれたら自分の分かることは教えています。おじいちゃんにもそう教わりました。この前は、仙台の中学生がわたしの家に民泊に来ました。ちょっと緊張してあまり話せなかったけど、今度来たときは緊張しないでウニの殻むきとかを教えてあげたいです。

地域を少しでもきれいにしたい

1週間に2～3回、新聞を取りに行くついでに、国道のごみ拾いをしています。時間にしたら30分くらいでしょうか。特別に何かしようと思ってやっているのではなく、自分の住んでいる地域を少しでもきれいにできればいいなという思いです。尾肝要を通る人たちにも汚い場所だと思われたくないですね。

道路を歩いていると、結構ごみが目に付きます。空き缶やペットボト

ル、最近はビニール袋にごみを詰め込んで捨ててあるものもあります。ごみを捨てている人も、自分が拾う立場になれば、ポイ捨てもしないんでしょうけど…。

道路沿いの花壇がきれいにしていると、目の保養にもなります。花壇をきれいにするのも、ごみを拾うのも同じことだと思うんです。やっぱり、通りかかった人にきれいなところだと思われたいですからね。



いわお
向川原 巖さん
(61・尾肝要)



佐藤 廣記さん(69)
シヨウさん(62)
(浜岩泉)

きれいな花見て皆さんが和めば

花の栽培はよっぽど前からやっています。だいたい20年くらいになりますかね。村内に配る花を村外からわざわざ買っているの、栽培してみないかと誘われたのがきっかけです。今年はマリーゴールドやペチュニアなど約12,000本の苗を栽培しました。これでも、最盛期の半分ぐらいに減ってしまい、村内にも花が少なくなってちょっと寂しいです。

花は天候に左右されるので、種類

によって違う開花時期を合わせるのが大変です。でも、「村内にきれいな花がいっぱい咲いてほしい」という思いで頑張っています。

皆さんが植えてくれた花を見て、きれいに咲いていてくれればうれしいし、花を見て和んでくれたらもつとうれしいです。鮮やかな色の花が咲くように、愛情を込めて作っているので、皆さんも植えばなしではなく、草取りなどしてくださいね。

特別ではなく普通に接すること

カルボナード島越駅で切符の販売などを行っています。三陸鉄道を利用する観光客にとって、駅員はきつと最初に出会う田野畑村民。観光客は知らない土地に来て、少し不安もあるんじゃないでしょうか。様子を見ながら「観光船ですか？」など、なるべく声を掛けるようにしています。

観光客にはもちろん声を掛けますが、地元の人にも同じです。わたしにとっては観光客も地元の人も大事

なお客さんですから。

おもてなしって考えると難しいですが、特別なことじゃなく普通に接することなのかなあ。特別なおもてなしは自分も疲れるし、相手も気を遣うと思うんです。自分の家にお客さんが来たら「休んでってー。今お茶入れるから」。これって普通のことでしょ。それと同じだと思います。

駅のトイレをいつもきれいにしておきたい、これもおもてなしかな。



グスコブドリの会代表
早野 くみ子さん
(54・島越)



佐々木 ともこさん
(53・切牛)

民泊受け入れを楽しんでいます

これまで小中学生の民泊を3回受け入れました。きっかけは民泊説明会に誘われたから。その時は、とりあえず義理で出席したので、本当に受け入れるとは思っていませんでした。でも、実際に受け入れてみて、自分たち夫婦も楽しませてもらっています。「体験させることがこの程度でいいだろうか」「事故に遭わないだろうか」と心配もありますが、野菜の収穫や料理など、何でも一緒

に楽しんでやっています。

民泊を受け入れていることを知った近所の人々が魚介類を差し入れてくれることも。自分の家だけでなく地域全体で受け入れている感じです。子どもたちには、分け合いや助け合い、そういった田野畑の良さも伝わればいいなと思います。

お礼の手紙が届くととてもうれしいです。これからも受け入れていきます。断る理由はもうありません。

観光のプロフェッショナルが語る 「旅行スタイルの変化」と「田野畑の観光」

かつての旅行スタイル

いくつもの観光地を**効率的**に見て回る旅行



多くの見どころ
効率、安価、画一的

これからの旅行スタイル

一つの観光地を**効果的**に見て回る旅行



じっくり滞在
深み、個人の価値・興味重視

北山崎への「立ち寄り観光」から、田野畑村にじっくりと滞在して、本当の魅力に触れてもらう「体験型観光」へ——。田野畑村としてこの目標の実現に向けて、数年来取り組んできた中から、机浜番屋群に代表される田野畑の本当の魅力として誇るべき宝物がたくさん生まれてきました。それらを光らせているのは、サップ船や番屋群、北山崎の海岸などを誇らしげにガイドしてくれる漁師さんや住民の皆さんなのです。

都会の人を感動させる田野畑村の本当にすごいことは、圧倒する国立公園の海岸美ではなく、その自然と同化したような地域の皆さんの暮らしそのものです。そして、海だけでなく、里や山にも実はまだまだ宝が埋もれています。

田野畑村の皆さんは、もっともっと自分の村が「極上の田舎」であることに気付き、それを誇りに思って、訪れた人とふれあう機会を増やしてください。これからの田野畑村が大切にすべきは、多くの観光客を集めることではなく、村の本当の魅力を理解してくれてリピーター、さらには応援団にもなってくれる本当のファンづくりにあります。

目指してほしい 村民が誇れる 極上の田舎

(財)日本交通公社
主任研究員

大隅 一志さん
(おおすみ・かずし)





長い間ここに住んでいると、自分の古里の価値や魅力に気付かなくなりがちです。「どうせ田舎だから…」と思っていますか。でもそんな田舎に、全国各地からたくさんの方が訪れています。北山崎などの景色、新鮮な食べ物、サツパ船などの体験、そして地元の人とのふれあい……。訪れる目的は人それぞれ違っても、それらに共通するのは「田野畑だから」「田野畑だけ」ということ。観光客には見えて、わたしたちには見えない田野畑の良さがまだまだ眠っているかもしれません。

まずは皆さん一人一人が、田野畑の生活を楽しみましょう。そうすれば、村の良さがもつと見えてくるはず。良さが分かれば田野畑のことがこれまで以上に好きになり、村に誇りを持つことにきつとつながります。

「たのはたーど」は、大好きで誇りあるこの田野畑を訪れる人に、この良さを感じてほしいという気持ちを持った人たち。みんなですてきな「たのはたーど」になりませんか？ 村を訪れるたくさんの方々に「よぐ来てけだごどー」「まだ来てけでー」と自信を持って言えるように――。

特集終わり



定住しませんか

村営住宅の入居者募集

小学校統合により空き家となっている村営住宅(旧教員住宅)の入居者を募集します。入居を希望する人は申し込んでください。

- ◆入居資格者：住宅に困窮している村民および特定定住者(下の※印参照)
- ◆受付期間：7月1日(木)～23日(金)
- ◆申し込み方法：各担当課

で申込書を配布し、詳細を説明します。その後、必要書類を添えて申し込んでください。(申込書は村ホームページからもダウンロードできます)

- ◆入居時期：8月1日以降
- ◆家賃：村の規定による
- ◆事前見学：見学を希望する人は、各担当課に連絡してください



【沼袋地区1号棟】築28年 60㎡ 3DK

- ◆入居の決定：村営住宅入居者選考委員会の選考で決定します
- ◆申し込み・問い合わせ先：
 - ①村民：地域整備課 ☎34-2113 内線51
 - ②特定定住者：政策推進課 ☎34-2111 内線62



【机地区1号棟】築24年 60㎡ 3DK



【北山地区1号棟】築24年 60㎡ 3DK



【北山地区2号棟】築24年 60㎡ 3DK



【羅賀地区1号棟】築31年 53㎡ 2DK

定住1
住む

特定定住者には家賃無料または半額で貸し出し

村は7月から、子育て支援と定住施策を組み合わせた取り組みとして、村営住宅の空き物件を、特定定住者(※印参照)に限り、入居した日から10年間、家賃を減額して貸し出します。

村営住宅(集合住宅を除く)は無料、村営の集合住宅は半額の月額22,500円(7月1日現在)となります。ただし、10年経過した日からは、村営住宅条例に基づいて家賃を支払うことになります。

詳しくは、政策推進課(☎34-2111 内線62)に問い合わせてください。

※特定定住者とは…

- ①田野畑村外に住所を有し、②同居する中学生以下の扶養親族または妊娠中の配偶者があり、定住することを前提として、③田野畑村に転入し住民基本台帳に記載される人をいいます

定住2

試す

たのはた暮らし体験居住事業費補助金

田野畑村で暮らしてみたいと考えている県外の人を対象に体験居住施設を貸し出し、宿泊費などの費用を補助します。

◆体験施設：北山休養宿泊施設「田野畑自然大学校」

◆体験期間：毎年4月から11月までの間で、おおよね1週間以上の滞在。滞在中には地域内体験活動

をすることが条件

◆対象者：岩手県外に居住する人

◆補助金額：宿泊費と調理場使用料に対し、5万円を上限に補助

◆地域内体験活動：農業や漁業体験、体験観光メニユーの体験、地域行事への参加などから選んで活動していただきます

◆申し込み・問い合わせ

先：政策推進課(☎34 | 2111 内線62)



田野畑自然大学校

定住3

直す

定住促進住宅の改修事業費補助金

村内の空き住宅に入居を希望する人、または入居して1年以内の人がその住宅の改修工事をする場合、改修費用の一部を補助します。

◆対象者：村外に住所がある人、または村内に転入して1年以内の人

◆補助対象経費：空き住宅などの機能向上のために

行う修繕や模様替え、整備改善

(例：壁紙やふすまの張り替え、畳替え、網戸の設置、改築による部屋の模様替え、トイレの洋式・簡易水洗化、浴室タイルの張り替え、照明器具の設置など)

◆補助金額など：改修に要する経費の2分の1以内

の額で上限20万円。同一

申請者に対して1回限り

◆申請方法：改修工事をする前に、家主と相談のうえ担当課に連絡してください。申請書を配布しますので必要書類を添えて申し込んでください

◆申請・問い合わせ先：政策推進課(☎34 | 2111 内線62)

田野畑暮らし始めました

体験村・たのはたでコーディネーターをしている武井俊樹さん(35)＝大芦＝は、昨年の4月に田野畑に引っ越してきました。そして、今年4月。妻・恵さん(39)、長男・柊詩朗君(小1)、次男・蛍郷君(3)、三男・暁星君(1)も転入し、1家5人で田野畑村暮らしをしています。

「今年の春から家族全員が田野畑村民です。田野畑に引っ越してきたのは、自分が関心ある仕事に転職するため。そして、子どもたちには海や山など、田野畑の自然の中で伸び伸び育ててほしいと思ったからです。1年間の田野畑生活で5回くらいクマを目撃。そういった意味でも、自然豊かなところだと感じます(笑)。自然の中で子育てができ、子どもの医療費もかからないし保育料も無料——。子育てに優しいことがいっぱい村です。地域の人たちの温かさを感じながら楽しく生活しています」



左から恵さん、暁星君、蛍郷君、俊樹さん、柊詩朗君



マレットゴルフ 交流大会を開催

8月29日
(日)

平成22年度村民マレット

ゴルフ大会を8月29日(日)、

明戸地区の村マレットゴルフ

場で開催します。この大会

は、村民の交流促進と健

康増進を目的として行う大

会で、小学生からシルバー

世代まで多くの村民が出

場。プレーを楽しみながら

和やかに交流します。

また、地区対抗で行うこ

とから、各チームは部門優

勝と総合優勝を目指して熱

戦を繰り広げます。

昨年度の大会は、田野畑

チームが三連覇を達成。今

年は、どのチームが田野畑

チームの連覇を阻止する

か、それとも田野畑チーム

の四連覇なるかが見どころ

になりそうです。各地区体

育会が中心となつてチーム

を編成しますので、奮って

参加してください。

◆日時：8月29日(日)

・開会式：午前8時10分

・競技開始：8時30分

◆場所：村マレットゴルフ
場(明戸地区)

◆部門：小学生、中学生、
フリーA～D、女性、シ
ルバーの8部門

◆競技方法：地区対抗の団

体戦。小中学生は「鶴の

巣」、その他は「鶴の巣」

と「北山崎」の2コースを

ラウンド

◆表彰：総合表彰、部門表

彰、ホールインワン賞

◆選手登録：各部門4人

(フリー各部に女性を1

人以上登録すること)

ヒメボタルの観察会を開催

今年のヒメボタル観察会は、ホタルの発生状況を見ながら最も発生する日を予測して開催。あらかじめ参加希望者を募りますので、下記により申し込んでください。

◆実施予定日…7月10日～20日ごろ
午後7時～9時

※申し込み状況により2～3回に分けて実施

- ◆観察地…甲地地区のヒメボタル生息地
- ◆集合場所…アズビィ楽習センターまたは農村環境改善センター(沼袋)
- ◆移動方法…村公用車で移動(アズビィ楽習センター発、農村環境改善センター経由)
- ◆定員…各回7人
- ◆実施方法…ホタルの発生状況を見て実施日を決定し、参加希望者に連絡します
- ◆参加料…無料
- ◆持ち物…夜光反射材を持っている人は持参してください
- ◆申込期限…7月8日(木)

「わんぱくランド」で磯遊び

- ◆日時…7月17日(土) 午前10時～11時30分
- ◆場所…平井賀海岸(田野畑駅に集合)
- ◆対象…小学生と保護者
- ◆参加料…無料

「親子ふれあい広場」を開催

家庭教育学級「親子ふれあい広場」を行います。盛岡市の男性保育士連(高嶋純代表)の皆さんに指導していただき、親子でふれあい遊びを楽しみます。

- ◆日時…8月22日(日) 午前9時30分～11時
- ◆場所…アズビィ体育館
- ◆対象…児童館・保育所・若桐保育園の園児と保護者
- ◆参加料…無料

このページの申し込みや問い合わせは、
教育委員会社会教育課(☎34-2226)まで



注目を浴びながらティーショット(昨年度の様子)

下北地区中総体

軟式野球・バレー バスケット 優勝

第57回下北地区中学校総合体育大会は6月12日、岩泉町内と本村の5つの会場で行われました。各試合会場は、選手たちの一生懸命なプレーと父母らの声援で熱気に包まれました。田野畑中は軟式野球と女子バレーボール、女子バスケットボールがそれぞれ優勝し、県大会への出場を決めました。

なお、男子バスケットボールも地区代表で県大会出場が決まっています。



素早い攻撃で次々ゴールを奪った女子バスケ



サーブレシーブは攻撃の起点。相手サーブに備える女子バレー



軟式野球は気迫込めた投球で延長戦を制する

各種目の試合結果

■軟式野球(優勝)

田野畑中 8-3 小川中(延長8回)

田野畑中 11-7 岩泉中(延長10回)

■女子バレーボール(優勝)

(3校リーグ戦。2勝0敗)

田野畑中 2-0 小本中

田野畑中 2-0 岩泉中

■女子バスケットボール(優勝)

(3校リーグ戦。2勝0敗)

田野畑中 58-56 小川中

田野畑中 68-16 岩泉中

■女子ソフトテニス

団体戦2位(2校リーグ戦)

■男子卓球

団体戦3位(4校リーグ戦)

■女子卓球

団体戦3位(4校リーグ戦)

県大会への決意

各クラブのキャプテン(3年)に意気込みを聞きました

女子バスケットボール部

佐々木 紗耶香さん

男子バスケットボール部

佐々木 駿介君

女子バレーボール部

佐々木 心さん

軟式野球部

佐々木 拓也君



下北大会は、少しのミスで得点を取られ焦ってしまいました。県大会の目標は上位入賞。もっと工夫したプレーで、いいゲームをしたいです。



予選がなかったので、早く県大会で試合をしたいです。初戦敗退が多いので、まずは初戦突破。一戦一戦大事に、練習通りの力を発揮したいです。



下北大会は勝ったけど、自分たちのミスで相手に得点されました。目標は県優勝で東北大会出場。指示の声を大事にして目標に向かいます。



下北大会は、苦しいときに仲間で声を掛け合え、負ける気はしませんでした。県大会の目標はもちろん優勝。一戦必勝の気持ちで頑張ります。

観光シンポで村づくりを学ぶ

「たのはた・おもてなし観光シンポジウム」は5月29日、ホテル羅賀荘で行われ、約100人が観光による村づくりについて学びました。青森県大間町で町おこしに取り組む「あおぞら組」の島康子代表は、「自分の気持ちしだいで見えてくる景色も変わる。ここだからこそという個性や濃さは格好いいもの。田野畑らしさは素晴らしい」と講演。上机莞治村長は、村の産業として体験型観光を推進するため「たのはた一ど・おもてなし憲章を」発表しました。



大漁旗を利用した手作りバッグを紹介する島康子さん



子どもたちは二胡や中国琵琶、馬頭琴の演奏に酔いしれた

子どもたち包むアジアの響き

青少年劇場「姜建華とシルクロードアンサンブルコンサート」は6月3日、アズビィホールで開かれ、村内の小中高生が中国琵琶や馬頭琴などアジアの音色に酔いしれました。コンサートは楽器の説明を交えながら約1時間20分。中国の曲のほか日本の曲も演奏されました。坂本奈月さん(小5)は「初めて見る楽器ばかり。どんな音がするか楽しみにしていました」、下田理恵君(小6)は「とても素晴らしい演奏。馬頭琴の音がとてもきれいでした」と話していました。

手作りスライムに子ども夢中

たのはたっ子わんぱくランド「おもしろ創作教室」は6月19日、アズビィホールで開かれ、小学生43人がグミやスライム作りに挑戦しました。子どもたちは初めての体験に興味津々。「ワーツ!」、「気持ち悪いー」などと歓声を上げながら、楽しんで作っていました。佐々木正成君(小2)は「ミカンのグミを作って楽しかった」と笑顔。向井夏鈴ちゃん(小2)は「ピンク色のスライムを作りました。おうちでまた作ってみたいです」と話していました。



スライムの作り方説明を熱心に聞く子どもたち



乳製品の無料配布には今年も長蛇の列ができました

乳製品無料配布今年も大行列

たのはた牛乳まつりは6月20日の父の日(乳の日)、尾肝要地区のミルクプラント周辺で開かれました。今年で22回目を迎えたまつりには、村内外から多くの人々が訪れ、イワナの塩焼きや豆腐田楽を買い求めていました。恒例の乳製品の無料配布には長蛇の列ができ、牛乳とアイスクリーム各600個はあっという間に無くなりました。家族で訪れた佐々木誠祐さん(37)＝島越＝は「毎年、楽しみにしています。来年は子どもにも牛も見せたいです」と話していました。

命の不思議と尊さ親子で学ぶ

いわて子どもの森「いのちのおはなしキャラバン」は6月19日、若桐保育園で開かれました。親子13組など約40人が、命をテーマにした読み聞かせや出産疑似体験を通し、親子のきずなを再確認。佐藤美枝さん(37)は「子どもがおなかの中にいるときから今までのことを思い出しました。やっぱり子どもはかわいいと思いました」、永本志織さん(29)は「子どもが生まれてきたときの感動を思い出しました」と親子のスキンシップを楽しんでいました。



出産疑似体験で親子のきずなを再確認。「生まれてきてくれてありがとうございます」



屋根の塗装作業に精を出す七滝地区の皆さん

七滝地区で公民館の屋根塗装

七滝行政区(佐々木預助行政区長、43世帯)は6月13日、地区民の共同作業で地区公民館「創心館」の屋根の塗装作業を行いました。

地区の共有財産の修繕を自らの手で行うことで、結いの精神と自治意識をさらに高めようと、村の「協働のむらづくり推進事業費補助金」の助成を受けて実施。屋根の塗装作業のほか、地区内の草刈りなども行い、作業に参加した約30人は晴天の下、心地よい汗を流していました。

6月1日現在()は前月比

(5月21日～6月21日)

人口	3,979人(+5)	火災の【今月】	1件
男	1,949人(±0)	発生件数【今年】	3件
女	2,030人(+5)	無火災の連続記録	
世帯	1,439世帯(+7)	(6月21日現在)	15日

その他のお知らせ

森林作業の講習会を開催

森林内での伐採作業や道路の草刈り作業など、就労する場合に必要な資格取得の支援を目的に、講習会を開催します。

チェーンソー講習

◆日時…8月24日(火)～25日(水)
午前8時30分～

◆受講料…3,300円

刈り払い機講習

◆日時…8月26日(木)
午前9時～

◆受講料…2,600円

共通事項

◆場所…アズビィ楽習センター

◆定員…各講習20人

◆対象者…村内に居住している人または就業している人で、林業関係などの資格を必要としている人

◆申込期限…8月10日(火)
午後5時まで

※定員になり次第締め切ります

◆その他…欠席しないようにしてください。受講料は釣り銭がいらないように準備をお願いします

◆申し込み・問い合わせ先…田野畑村森林組合(☎33-2811)

ネットショップ構築講座を開催

村雇用創造推進協議会では、ネットショップ構築を学ぶ講座を開催します。(全7回シリーズ)

◆日時…7月21日(水)

午前10時～午後3時

◆場所…アズビィ楽習センター

◆申込期限…7月20日(火)

◆申し込み・問い合わせ先…村雇用創造推進協議会(☎34-2116)

甲地一千丈の県道通行止め

一般県道田野畑岩泉線の道路改良工事のため、甲地一千丈間を全面通行止めになります。終日通行できませんので、村道姫松線を迂回してください。ご迷惑をお掛けしますが、理解と協力をお願いします。

◆規制期間…7月20日(火)～11月30日(火)

◆迂回路…村道姫松線

◆問い合わせ先…県沿岸広域振興局岩泉土木センター(☎22-3116)

サンマッシュで社員を募集

(株)サンマッシュ田野畑では、菌床シイタケ栽培に関心・熱意がある社員を募集します。

◆募集人数…フルタイムパート社員、パート社員、アルバイト社員 15人程度

◆業務内容…菌床の製造、シイタケの収穫やパック詰めなど

◆給与など…時給650円～、交通費支給、各種保険(雇用・労災・健康・厚生)、有給休暇

◆勤務時間…①8:00～17:00
②9:00～16:00 ③9:00～15:00
※その他の時間帯は応相談

◆休日…1ヵ月8～9日(ローテーション制、年間108日、夏季休暇、年末年始休暇)

◆応募方法…履歴書(写真付き)を郵送または持参ください

◆採用試験日…7月16日(金)・17日(土)のいずれか1日

◆選考方法…面接、適正確認

◆申込期限…7月15日(木)

◆応募・問い合わせ先…(株)サンマッシュ田野畑(〒028-8407田野畑村松前沢54-8 ☎37-3570)

シイタケ栽培の研修生募集

村雇用創造推進協議会では、菌床シイタケ栽培の研修希望者を募集します。

◆募集人数…4人

◆応募要件…村内在住者または村内移住希望者で、菌床シイタケ栽培を計画している人や栽培施設での就労・技術講習を希望する人など

◆研修先…村内、久慈市内、栃木県内

◆研修期間…約1ヵ月間(時期は協議して決定します)

◆支給費用…滞在費(栃木県の場合)、交通費

◆申込期限…7月16日(金)

※定員になり次第締め切ります

◆申し込み方法…履歴書(写真付き)を提出してください

◆申し込み・問い合わせ先…村雇用創造推進協議会(☎34-2116)

パスポート窓口が変わります

10月1日からパスポートの申請・受領が田野畑村役場窓口でできるようになります。これに伴い、宮古地域振興センターと県パスポートセンターでの受け付けは、9月30日で終了します。

◆問い合わせ先…県パスポートセンター(☎019-606-1720)



お知らせ

村からのお知らせ

臨時職員を募集します

村は次のとおり臨時職員を募集します。

一般事務 2人以内

- ◆応募要件…パソコン(ワード、エクセルなど)操作ができる人
※障がい者手帳などを持っている人を優先して採用します
- ◆勤務時間…月～金曜日(祝日を除く)の午前8時30分～午後5時30分
- ◆任用期間…7月20日～12月20日

庁舎清掃等 1人

- ◆応募要件…障がい者手帳などを持っている人
- ◆勤務時間…月～金曜日(祝日を除く)の午前8時30分～正午
- ◆任用期間…7月20日～8月20日

共通事項

- ◆勤務場所…田野畑村役場
- ◆給与など…村の規定による
- ◆応募方法…履歴書(写真付き)を提出してください。後日、面接の日時と場所をお知らせします
- ◆応募期限…7月12日(月)
午後5時必着
- ◆応募・問い合わせ先…総務課
(☎34-2111 内線11)

「空き屋バンク」に登録を

住居として使用していない家屋などのうち、賃貸借や売買が可能な物件の情報をお寄せください。寄せられた情報は「空き屋バンク」に登録し、移住・定住希望者などへ紹介するために利用させていただきます。

- ◆問い合わせ先…政策推進課
(☎34-2111 内線62)

埋蔵文化財整理作業員を募集

教育委員会は、遺跡発掘調査出土品の室内整理作業員を募集します。

- ◆募集人数…4人
- ◆応募要件…パソコン操作ができる人
- ◆作業内容…出土品や図面などの整理
- ◆作業予定期間…7月中旬ごろから約3カ月間
※ただし月14日以内の出勤となります
- ◆作業時間…午前8時30分～午後5時30分
- ◆作業賃金…5,720円(1日)
- ◆応募方法…氏名、生年月日、住所、連絡先(電話番号)、製図経験の有無を記入した履歴書(写真付き)を提出してください。後日、面接の日時と場所をお知らせします
- ◆応募期限…7月9日(金)
- ◆応募・問い合わせ先…社会教育課(☎34-2226)

国民年金の免除は申請を

平成22年度の国民年金保険料の免除期間は、一般の人が7月から23年6月まで、学生は4月から23年3月までです。免除を希望する人は早めに申請してください。

免除が承認されるのは本人・配偶者・世帯主の前年の所得がそれぞれ一定の基準額以下であることが条件です。なお、前年所得の申告をしていない場合は免除の審査ができないので、事前に申告を済ませてください。

◆持参するもの…

- ①失業中の人…印鑑、離職票か雇用保険受給資格者証
- ②学生…印鑑、在学証明書か学生証
- ③上記以外の人…印鑑

- ◆申請・問い合わせ先…生活福祉課(☎34-2114 内線23)、または宮古年金事務所(☎0193-62-1963)

後期高齢者医療保険料率が変わります

後期高齢者医療保険料率は、今後見込まれる医療費などの推計を基に2年ごとに見直しています。岩手県の平成22・23年度の保険料率は20・21年度と同率ですが、村は不均一地域(※)のため以下のように変わります。

		20・21年度		22・23年度
岩手県内の市町村	均等割額	35,800円	→	35,800円
	所得割額	6.62%		6.62%
田野畑村	均等割額	32,077円		33,318円
	所得割額	5.94%		6.17%

保険料は所得に応じて軽減されます。7月中旬に納入通知書を郵送しますので、忘れずに納めてください。

- ◆問い合わせ先…生活福祉課(☎34-2114 内線24)

※不均一地域…平成15～17年度までの老人保健医療費が、県内の平均より20%以上低い市町村。県内では田野畑村のみ。段階的に率を引き上げ、26年度からは県内他市町村と同率になります

はまなす 掲 示 板

はまなす号巡回カレンダー

期間：7月8日(木)～16日(金)

◆はまぎくコース（机・北山・羅賀方面）

月 日	場 所	時 間
7月8日(木)	机保育所	11:00～11:20
	北山地区総合センター	11:30～11:50
	生活体験館	12:20～12:50
	平井賀郵便局付近	13:00～13:20

◆たんぼぼコース（島越・浜岩泉方面）

月 日	場 所	時 間
7月8日(木)	島越駅	9:20～9:40
	島越児童館	10:00～10:20
15日(木)	望洋館付近	10:20～10:40
	佐藤進氏宅付近	10:50～11:10

◆おきなくさコース（沼袋・甲地方面）

月 日	場 所	時 間
7月16日(金)	沼袋保育所	10:50～11:10
	尾肝要公民館	11:20～11:50
	甲地公民館	12:00～12:30

「ぐるんぱ」で会員を募集

読書ボランティアグループ「ぐるんぱ」では、一緒に読み聞かせ活動ができる仲間を募集しています。読み聞かせは、本の開き方などの基本を覚えれば誰にでもできます。難しく考えず、まずは活動の様子を一度見に来てみませんか。

◆問い合わせ先…社会教育課 ☎34-2226

吉村昭歴史小説集成(全八巻)

吉村 昭 著

「歴史の記録者」と証された作家、吉村昭。徹底した史料収集と現地取材に基づき、真実はどのようなものを表現してきた。幕末維新期の小説を中心に収録。



地形がわかるフィールド図鑑

青木 正博ほか 著

日本各地で見ることができる興味深い地形を33箇所選り、その成り立ちや地層の成り方、美しい岩石や化石、わき水などについて解説。アクセスマップも掲載。



新着図書 ご案内

人生の言葉

「人生の言葉」編集部 編

わたしたちはいわば、2度この世に生まれる。最初は存在するために、2度目は生きるために…。ルソーや福沢諭吉など、人生訓が詰まった珠玉の名言集。



文芸

今月の歌

こだま短歌会
6月詠草から

陽光は燦々と照り

筒鳥も郭公も声なく山は鎮まる

九里 拓洋

連休は姑の命日古い二人

つつがなく終う二十三回忌

工藤 香世

「病に負けないで」と言い残せし

シャイなあなたが花影にたつ

田子内 亜樹

妹より苗送り来しチューリップ

鮮烈の赤庭の彩る

岩見 久子

みんなの ひろば

はがき(表)の記入例です

田野畑村 田野畑 143-1

田野畑村役場政策推進課 あて

田野畑村 田野畑 00-0

北山崎 太郎(6歳)

34-00000

◆投稿するときの注意…
①はがきの表には…住所、氏名、年齢、電話番号を書いてください。ペンネームや匿名での掲載も受け付けます
②はがきの裏には…クイズの答えとイラストや感想などを書いてください
③営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体を中傷するものは掲載できません
④感想など、長い文章の場合、一部添削させていただく場合があります

◆あて先・問い合わせ先…

〒028-8407

田野畑村 田野畑 143-1

田野畑村役場政策推進課

(☎34-2111 内線64)

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（7月20日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 統合後初の田野畑小運動会。優勝したのは？

- A) 赤組
- B) 白組

Q2 おもてなしの心を持った村民を何という？

- A) たのはたーど
- B) はんもうど

Q3 田野畑暮らし体験希望者に貸し出す施設は？

- A) 村営住宅
- B) 田野畑自然大学校

前号の正解

Q1→B、Q2→B、Q3→A

当選者（敬称略）

上山年和（北山）、牧原喜孝（大芦）、熊谷正初（猿山）、菅原正幸（菅窪）、矢羽々武美（盛岡市）

おめでた おくやみ

〔平成22年5月届け出分〕

（一部敬称略）

□生まれた赤ちゃん

佐々木 來樺（らいか）ちゃん
=賢・麻緒=甲地

川畑 紗南（さな）ちゃん
=勝也・史=羅賀

館野 衣由（いよ）ちゃん
=晃久・美里=羅賀

熊谷 陸斗（りくと）くん
=健・明子=猿山

♡ご結婚おめでとう

笠井 瑛介 神奈川県 > 羅賀

大澤 真希 羅賀 > 羅賀

和山 友則 大芦 > 大芦

辻屋 仁美 岩泉町 > 大芦

■ご冥福をお祈りいたします

泉山 義美（76） 島越

熊谷 常男（78） 猿山

中崎 正助（91） 羅賀

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口申し出てください

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

1113万6,149円

（6月21日現在）

255件（村内78件、県内88件、県外94件）

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧くださいか、総務課（☎34-2111 内線15）までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：7月3日(土)～8月2日(月)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
7月3日(土)	チョウセンアカシジミ観察会	甲地公民館に集合	10:30～12:00	社会教育課
4日(日)	宮古地区消防操法競技会	宮古消防署	8:30～12:00	消防田野畑分署 (☎34-2100)
11日(日)	参議院議員通常選挙投票日	村内各投票所	7:00～18:00	選挙管理委員会 (内線91)
12日(月)	乳がん・子宮がん検診	健診センター	9:30～10:30	健康推進課
13日(火)			12:30～13:30	
17日(土)	たのはたっ子わんぱくランド「磯の生き物観察会」	田野畑駅に集合	10:00～11:30	社会教育課
21日(水)	乳児健診	健診センター	13:00～15:30	健康推進課
26日(月)	定期健康相談	保健センター	10:00～11:30	健康推進課
27日(火)	精神保健相談	保健センター	13:30～15:00	健康推進課
8月2日(月)	固定資産税2期・国保税2期納期限			税務課 (内線32・33)
	介護保険料2期納期限			生活福祉課 (内線22)

役場☎34-2111 / 総務学校教育課・社会教育課☎34-2226 / 診療所☎33-3101 / 健康推進課☎33-3102



牛乳まつりでかわいらしい踊りを見せてくれた沼袋保育所の子どもたち（6月20日・ミルクプラント）



ウォーキング教室で楽しく学ぶ参加者たち（5月29日・アズビィ体育館）

★仕事は？

4月からJA新しいわて田野畑支所の窓口で現金出納業務を担当しています。失敗だらけの毎日ですが、お客様からの「ありがとう」の言葉にやりがいを感じています。

★休日は何をしていますか？

宮古に買い物に行きます。これからは、村内の行事にも積極的に参加していきたいですね。

★趣味は？

バドミントンが好きです。岩泉町の大会にも参加したりします。

★理想の男性のタイプは？

自分よりもしっかりしている人かな。

★今、頑張っていることは？

やっぱり仕事を覚えることですね。

★最後に一言お願いします！

仕事を始めたばかりでまだまだ勉強の毎日です。いつでも笑顔で接することを忘れずに頑張ります。JAでは、ただいまサマーキャンペーン中！定期積金よろしくお願いします(笑)。



熊谷 ^{あかね}茜さん (20) =猿山=



わが家の
アイドル



熊谷 ^{しゅうや}柁耶くん (1歳3カ月)
父・将志さん、母・弥生さん=羅賀=

お母さんからのひとこと

アンパンマンが大好き。最近は納豆ご飯をよく食べます。やんちゃけど少し甘えん坊な子です。健康で明るく、優しい子に育ってね。

編集ごぼれ話

快く取材に協力していただいた皆さん、そして広報を読んでいたってくださる皆さん、今月も無事に発行することができました。本当にいつもありがとうございます。▼5月30日は田野畑小統合後初の運動会。雨天続きで外での練習ができませんでしたが、全校児童189人はそんな心配をよそに、徒競走やダンスなどで元気いっぱい姿を見せてくれました。開会の言葉はかわいらしい1年生4人。その姿をカメラに収めて振り返ると、涙を流しているお母さんの姿がありました。きつと子どもの成長を感じ、込み上げるものがあつたんでしょね。みんなで子どもの成長を温かく見守っていく学校、村にしていきたいと感じた瞬間でした▼下北地区中総体の軟式野球決勝は、延長特別ルールにまでもつれ込む手に汗握る展開。土壇場でランニングホームランが飛び出し、選手は大きなガッツポーズ。つられてわたしもガッツポーズ。カメラには澄み切った青空が収められていました…。(政策推進課 佐々木和也)